

# 音楽科学習指導案

日時 令和元年 10 月 8 日 (火) 6 校時

場所 第 1 音楽室 授業者 岡 房子

学級 1 年 6 組 男子 12 名 女子 12 名 合計 32 名

## 1. 題材名 旋律と形式を工夫し郷土の民謡をうたおう (歌唱)

(教材「南部流酒造り唄より荒酏摺り唄」「夕焼小焼」「ソーラン節」「江戸の鳶木遣」「南部牛追い歌」)

## 2. 題材について

### (1) 学習指導要領の内容

A 表現 (1) 歌唱 ア イ (イ) ウ (ア) 【共通事項】 【音色、旋律、形式】

### (2) 題材観

本題材は、郷土の音楽について、聴き取ったり表現したりする活動を通して郷土の音楽の特徴やよさを味わい、それらを身近に感じながら、長い間受け継がれてきた郷土の音楽文化を大切にしていこうという態度を培うことをねらいとしている。

郷土の民謡を教材として取り上げることは、音楽がより生活に密着されたものであることを間近にとらえ、自分たちの住む地域の音楽についてより深い関心を持てると考える。伝承することの大切さを感じた上で、実際に歌い継がれている民謡の表現に近づこうとする姿勢を育くむことのできる教材でもある。

教材曲「荒酏摺り唄」は酒造り唄の中の 1 曲で酒を造る行程のときに唄われてきた。近江商人から持ち込まれた酒造りは、農家にとって農閑期の収入源となる大切な仕事として定着した。紫波町発祥の地とされる南部杜氏は今でも有名である。酒造りは共同作業で行われ、杜氏が呼びかける唄に職人が一斉に掛け声で応え、唄とあわせて体を動かし、呼吸を合わせて作業をするときに唄われた。この曲は音頭一同形式の仕事歌で、他国の音楽でも同じような形式でコールアンドレスポンスがある。それらとも関連させながら深めていける教材であると考えられる。

### (3) 生徒観

レディネス結果

①小学校では民謡の学習をしてきたか。

学習してきた 68%

②知っている民謡名

ソーラン節 南部牛追い歌

③横笛や太鼓などの演奏経験者数

経験したことがある 40%

④紫波町の民謡を知っているか

知らない 100%

⑤民謡に興味はあるか

興味がある 25%

⑥民謡のイメージ

伝統 方言 各地方にあるもの 地域に語り継がれているもの 懐かしい歌 由緒あるもの こぶしがきいている 昔から使われている楽器が使われている 伝統芸能 お年寄りがうたうもの 古典的 祭 歌い方が独特 演歌っぽい

紫波町は地域ごとに古くから伝わる祭があり、特に秋祭りは大変盛り上がる。生徒の中には太鼓や笛を経験している者も多く、地域の伝統芸能は生徒にとって身近なものである。また、小学校では民謡を学習してきていることが調べてみて分かった。しかし、授業へのレディネスを調べる時点では、どのような音楽が民謡なのかを理解できていなかった。そこで、今回は我が国の伝統的な歌唱である民謡を聴き比べ、発声の違いや独特な歌い方などを学び、さらには地域の民謡を歌ってみたりしながら、その良さを感じ取らせたい。授業を通して、民謡はもちろんのこと、その地域にある歴史や文化を大切にしようとする気持ちを育てたい。

(4) 指導観

旋律と形式に着目し、思いや意図をもって音楽表現活動に主体的に関わらせていきたい。はじめに、第1時は4種類の民謡の旋律・種類・形式の違いについて比較し聴き深め、第2時以降につなげたい。さらに、第2時、第3時においては、仕事歌であるこの教材を使って、歴史的背景や歌詞から音色と旋律、形式を工夫する学習に取り組ませる。グループ内で対話する際には、言葉だけでなく絵譜やマーク、口ずさんだり、ジェスチャーするなどの動きを入れながら思考判断させ、より表現しやすくした。今回の授業を通して、地域の伝承活動を担っていく礎となるような授業を展開していきたい。

(5) 指導の構想

次の表は3年間の「我が国や郷土の伝統音楽と諸外国の音楽との関連」に関わる指導の構想

第1学年 ○は日本の伝統的な歌唱についての学習 ●は諸外国の音楽の歌唱についての学習 (以下同様)

○小学校における経験・体験 ○郷土の民謡との関りと認識・模倣 ○アジアの音楽との出会い	●諸外国の音楽の歌唱の特徴の認識 ・曲種に応じた発声と響き ・音色 ・旋律 ・形式
---	---

第2学年

○日本の伝統芸能との関りと認識・模倣 ○世界の音楽との出会いと比較 ○非西洋系歌唱の認識	●諸外国の音楽の歌唱の特徴の再認識 ・曲種に応じた発声と響き ・旋律 ・形式 ・言語、歌詞
--	---

第3学年

○日本の伝統芸能との関りと認識・模倣 ○世界各地の音楽の多様性 (地域) ○西洋系音楽から発展した音楽 (ジャンル) ○非西洋系歌唱の認識	●諸外国の音楽の歌唱の特徴の再認識 ・曲種に応じた発声と響き ・旋律 ・形式とジャンル ・言語、歌詞 ・リズム
--	--

3. 題材の目標

- (1) 民謡の音色・旋律・形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。
- (2) 声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関りについて理解し、創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付ける。
- (3) 仕事の工程や歌詞の内容から、旋律と形式(歌う人数)を変化させて歌う表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組む。

#### 4. 指導と評価の計画

	○学習課題 ・主な活動	◎評価規準B ◆評価場面 ☆指導事項
第1時	<p>○郷土の民謡を比較聴取し特徴をつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音色、リズム、旋律、形式、声の出し方を知覚・感受する。</li> </ul> <p>○地域の民謡を聴き深めて歌う。 「南部流酒造り唄より荒酏摺り唄」</p>	<p>&lt;関心・意欲・態度&gt;</p> <p>◎郷土の民謡を比較聴取し、音色、リズム、旋律、形式、声の出し方について関心をもって知覚感受し、特徴をつかもうとしている。</p> <p>◎旋律を意識して聴いている。</p> <p>◆活動観察 ワークシート</p> <p>☆A歌唱イ（イ）</p>
第2時	<p>○「荒酏摺り唄」の模範唱を参考に旋律、形式の特徴をワークシートにまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人⇒グループで聴いたり歌ったりしながら、絵譜を作成する。</li> <li>・絵譜を見ながらまねて歌う。</li> </ul>	<p>&lt;技能&gt;</p> <p>◎旋律・形式をワークシートに、自分なりにまとめている。</p> <p>◎絵譜を作成している。</p> <p>◎表したい歌唱表現に近づくような歌い方を探し、必要な技能を身につけている。</p> <p>◆活動観察 ワークシート</p> <p>☆A表現（1）歌唱ウ（ア）</p>
第3時 本時	<p>○歌詞と仕事内容から働く人の気持ちを考え、旋律と形式に結び付けながら音楽表現を工夫する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・仕事内容を映像を見る。</li> <li>・歌詞と声の重ね方を働く人の気持ちと結び付け、歌い試しながら音楽表現を工夫する。</li> <li>・他グループの音楽表現と自分たちの音楽表現を聴き比べる。</li> <li>・民謡の学習を振り返る。</li> </ul>	<p>&lt;創意工夫&gt;</p> <p>◎旋律・形式を働く人の気持ちと結びつけながら考えようとしている。</p> <p>◎思いや意図をもって音楽表現の仕方を、工夫しようとしている。</p> <p>◎他者の音楽表現と自分たちの音楽表現の違いや良さを聴き分けている。</p> <p>◎民謡の学習を通して、地域の民謡が身近なものであり大切にしていこうという気持ちをもつことができる。</p> <p>◆活動観察 ワークシート</p> <p>☆A表現（1）歌唱ア</p>

#### 5. 本時の目標

仕事の内容と民謡の旋律・形式を結び付け、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取りながら音楽表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。

## 6. 本時の展開

	生徒の活動	指導上の留意点 【評価の観点・方法】
導入 5分	1. 前時の学習の内容を確認する。  2. 学習課題を把握する	・前時まで学習した内容を、思い出させながら本時の課題に近づける。  <b>【関 活動観察】</b>
展開 40分	学習課題 仕事の内容や働く人の気持ちを考え、歌い方と歌う人数を工夫しよう。	
	<b>ステップ1 授業形態 個人</b> 3. 仕事の内容の映像を見る。  <b>【主】</b> 仕事の内容を見て感想をまとめている。	
	<b>ステップ2 授業形態 グループ</b> 4. 歌い方と歌う人数を考え音楽表現を工夫する。  <b>【主・対】</b> グループで絵譜に記入したり、歌ったりしながら音楽表現を工夫しようとしている。	・歌ったり、ジェスチャーを入れたりして歌い方と歌う人数を工夫する。  <b>【創 活動観察 ワークシート】</b>
	<b>ラストステップ 授業形態 全体</b> 5. 代表のグループの発表を聴く。  <b>【主・対】</b> 自分たちが工夫したものと比較しながら聴いている。	・他グループの表現と、自分たちの表現を比較しながら聴く。  <b>【創 活動観察】</b>
終末 5分	・振り返りシートに記入	・3時間のまとめとなるような内容で、振り返らせる。

## 7. 振り返りの場面での生徒の記述例

歌詞から歌のイメージを持つことによって、歌う時に気持ちを込めて歌えることがわかった。今まではどの曲も同じ歌い方をしてきたが、曲に合わせて歌い方を変えることもわかった。さらに、酒造りで働いていた人の様子を知れたし、昔の人々の暮らしや仕事から民謡が生まれ、今に伝わっていることに驚いた。これから、自分から地域に関わっていこうと思った。

